

丹後に米軍基地は、いらんちゃ!

12.15 京丹後市役所前「平和の叫び&人間のくさり」行動に1,170人



12.15日 京丹後市役所前での『平和の叫び&人間のくさり』行動とデモ行進

12月15日、寒風と雨まじりの中、京丹後市役所前には、バスが16台以上、続々と人が集まってきました。「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」のよびかけで開催された『平和の叫び&人間のくさり』行動は、京都市をはじめ南部や府下一円から、また、大阪・滋賀など近畿の各地から1,170人も参加者が駆けつけ、ヒューマン・チェーン、デモ行進などの行動に参加しました。集会は「京丹後青年の会」永山恵弥さんの司会ではじまり、「丹後連絡会」の石井内海さんが、地元の謝礼とカンパの訴えを行い、20万円を超えるカンパが集まりました。また、「京都に米軍基地いらない府民の会」の共同代表で、京都民医連会長の尾崎望さん（知事候補）をはじめとする参加団体の出席代表らが紹介され、元宜野湾市長の伊波洋一さんからの「沖縄からのメッセージ」も紹介されました。

あきらめない、粘り強く沖縄のようにたたかう

米軍基地建設を憂う宇川有志の会・代表
三野 みつる さん



永井さんと三野さん

知事や市長が受入の表明後、安全・安心が何ら示されないまま、目立つのは、パトカーが頻りにパトロールし、参道の入り口には、関係者と参拝者以外は立入禁止という看板が立てられています。きょうは、基地予定地に、機動隊が30人ほどでバリケードしています。10月に京丹後市に基地対策室が設けられたが、室長と防衛局の職員が同室しており、誰のためかは明らかでしょう。一反当たりの相場が8千円の農地を、私たちの税金を使って、宅地並みの30万円にし、人の心をいたぶっています。土地の賃貸契約の同意を『あと少しだ、判コを押さない』と強引に、威圧感で脅しています。一人暮らしの女性はノイローゼになりそうといっています。原発で明らかのように、お金はいつか、土地は末代です。機密で教えてもらえない電磁波、レーダが置かれることで攻撃的になり、米兵の治安問題もあります。疑問・不安だらけで、何一つ解決していません。自公による秘密保護法の強行も基地問題のためゴリ押ししたと言わざるを得ません。決まったから、安保条約があるからと、あきらめないで、沖縄のように粘り強くたたかいたい。

宇川のオバさんの独り言 (メッセージ)

巨大基地があるだけの丹後半島にハッとある



長い歴史と先人たちによって守られてきた文化、それを守り続けられたらと思っていたら、何やら不穏な動きが始まりました。何も知らされず、何もわからず、気付いたときは、黒雲が村を覆いつくしていました。過疎(裏へ)

・発行:米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称:京都に米軍基地いらない府民の会)

連絡先:京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

の村の素朴な人々、素晴らしい自然、これが自慢だったのに、見事に付け込まれました。アフリカのサバンナなら弱肉強食の世界でしょう。でも、私たちは同じ血が流れる人間なのに、過疎の村に住んでいるだけで、大きな犠牲を払わせられるのです。イナカの無学なオバさんにとって、100%の安全・安心などないことを原発事故は教えてくれました。のんびり、ゆったりのはずだった老後の生活が消えかかっているいま、村は跡形もなくなってしまい、巨大基地があるだけの丹後半島なんて考えるだけでゾッとします。国が決めたことだから、この一言で片づけられる私たちは、虫けらなのではないでしょうか。宇川のオバさんの独り言です。

環境影響調査の実施は不可欠 漁師 (メッセージ) 松田 正信 さん

私は、レーダー計画地に隣接する中浜漁港を拠点に一本釣り漁業を営む者です。今回の降ってわいたような米軍Xバンドレーダー計画は、私たちが日々生業を営む漁場へ向け、強力な電波を照射するものであり、「設置前と設置後に電波状況を調査する」などという、設置を前提とした子供だましの説明で納得出来るようなものではありません。環境面においても、大量の排水問題とともに、海鳥を含む生態系にどのような影響を与えるのか、具体的には何ら示されていません。漁業者の経験では、魚群探知機の微弱な電波でさえ魚が嫌うことは広く知られているところであり、事前の環境影響調査は不可欠であると考えます。自治体の首長は、住民の幸福の実現を体現することこそ本来の役割であります。市長並びに知事におかれては、安直な政治屋的判断に陥ることなく、住民の声に真摯に耳を傾け、拙速な判断の前に、可能な限りの各種調査を実施するなど、次代の子供たちに「負の遺産」を引き継ぐことの無いよう強く願います。

上宇川連合区長 増田 光夫 さん 警察官も10倍にしても「地位協定」のもとで何ができるのか

人口1800人、650戸の私の地域に大きな課題がもたらされた。住民の暮らしや安全がどうなるのか、電磁波、水、将来の地域の見通しなど、240人参加の学習会で議論を重ねてきた。出された疑問は10回にわたるピラを全世帯に配布した。何一つ納得する回答は今もない。12月10日、宇川地区の区長会があったが、基地対策室は、米軍基地ができた時、どれだけ警察官が配置できるか、検討しているという。仮に警察官を10倍配置しても、地位協定のもとで何ができるのかと、今後も素朴な疑問を言い続けたい。

安全・人権が軽んじられている 日本共産党 京丹後市議員 田中 邦生 さん



3日、議会の一般質問で、市長に受入を撤回せよと迫った。市長の言う安心・安全の10項目の条件はどうなったかと問うと、副市長は、「何も決まってない」という。市長は「手続きに問題ない、環境アセスについても、府が検証したから、国に求める考えはない」という。安全や人権が軽んじられている。米軍基地は京都にも日本にもなじまない。

米軍基地建設を憂う宇川有志の会・事務局長 永井 友昭 さん 米・国・防衛省・京都府・京丹後市は、住民に説明を!

16日に袖志区民の説明会が開催されるが、市長や防衛局は最後の説明会といっている。土地は、「ほぼ確保された」といってるが、同意書であって、賃貸契約書はまだ大半が出ていない。受入れ表明から3ヶ月たって何ひとつ説明がされていないし、36項目の申し入れをしたが、回答材料をととのえているとして、答えていない。行動提起として、①防衛大臣は、安全・安心対策を「真摯かつ万全な対応をする」といったが、国・防衛省に声を上げること、②米国に環境管理基準に基づく調査をさせること、③府と府知事に府民への説明会を、府民だよりは、一行も書かれていない。④京丹後市長に、10項目の検証と説明会を求める。

『受入れ撤回いつやるの』『今でしょ!』 1,170人超の人間の鎖・シュブ・ヒール

「丹後連絡会」の吉田さゆみさんが、1,170人を超える参加者とともに、流行語大賞をもじって『経ヶ岬に米軍基地つくるんだってえ』『レーダー出力も秘密、すべて軍事機密だってえ』『じえじえじえ』。『府民の反対の声を無視して、勝手にすすめる基地建設には、府民の力で』『倍返しだ』、『知事さん・市長さん、受入れ撤回いつやるの』『今でしょ』と京丹後市役所に向かって、人間のくさり・シュブレヒコールをしました。



- このニュースを「いいね!」と思われたら、どんどん拡散 (カクサン) して下さい。
- これまでに発行された「府民の会ニュース」は、HPから見る事ができます。

京都総評

検索

米軍基地いらない府民の会